

参照先 NTP サーバの設定変更方法

1、x-mon サーバにログインします。

x-mon サーバにキーボード、モニターを接続し、1,2 回ほど、エンターキーを入力すると下記のような文字列が表示されます。

```
CentOS Linux 7 (Core)
Kernel 3.10.0-514.21.1.el7.x86_64 on an x86_64
x-mon login:
```

login の後に、ユーザ名「root」と入力します。

```
CentOS Linux 7 (Core)
Kernel 3.10.0-514.21.1.el7.x86_64 on an x86_64
x-mon login: root
Password: _
```

x-mon サーバにログイン出来れば、下記のような表示になります。

```
CentOS Linux 7 (Core)
Kernel 3.10.0-514.21.1.el7.x86_64 on an x86_64
x-mon login: root
Password:
Last login: Sun Jun 18 13:39:34 on tty1
[root@x-mon ~]#
```

2、NTP サーバの参照先の設定ファイルを vi で編集します。

```
# vi /etc/ntp.conf
```

文字を入力する際には、「esc キー」を押し、キーボード「i キー」を押しますと、画面の左下に「-- INSERT --」もしくは「--挿入--」と表示されますので、下記の例のように「server IP アドレス(もしくはサーバ名)」を入力します。

入力後、「esc キー」を押し、「:wq」を入力し、エンターキーを押すことで設定ファイルを保存することが出来ます。

例 1) 参照先の NTP サーバが 192.168.0.1 の場合

```
server 192.168.0.1
```

例 2) 参照先の DNS サーバが 0.centos.pool.ntp.org と 1.centos.pool.ntp.org の場合

```
server 0.centos.pool.ntp.org
server 1.centos.pool.ntp.org
```

3、ntpd の再起動

以下のコマンドにて ntpd を再起動します。

```
# service ntpd restart
```

4、下記のコマンドを発行し、参照先の NTP サーバと正しく時刻同期が行われるか確認します。

```
# ntpq -p
```

remote	refid	st	t	when	poll	reach	delay	offset	jitter
*ntp1.jst.mfeed.	210.173.160.56	2	u	349	1024	377	9.639	0.217	0.158
+ntp2.jst.mfeed.	210.173.160.56	2	u	96	128	377	8.600	0.267	0.164

設定変更手順は、以上となります。